

明日をひらく

未来・創造力



●主 九州建設技術フォーラム実行委員会:

> 公益社団、土木学会西部支部/公益社団、地盤工学会九州支部/(一社九州橋梁·構造工学研究会/(社)日本建設業連合会九州支部/(社)福岡県建設業協会/ (一社)建設コンサルタンツ協会九州支部/(一社)日本道路建設業協会九州支部/(一社)日本橋梁建設協会九州事務所/(一社)日本建設機械施工協会九州支部/ (社)プレストレスト・コンクリート建設業協会九州支部/ 他日本埋立浚渫協会九州支部/ 特定非営利活動法人九州コンクリート製品協会/ (一社)全国測量設計業協会連合会九州地区協議会/ (社)全国特定法面保護協会九州地方支部/ (地)九州建設弘済会/ (地)九州地方計画協会/ 做北部九州河川利用協会/(一社)九州建設技術管理協会/国土交通省九州地方整備局/福岡県/福岡市/北九州市/)独水資源機構筑後川局 西日本高速道路㈱九州支社/福岡北九州高速道路公社

[協力支援] 九州建設業協会 / 佐賀県 / 長崎県 / 大分県 / 熊本県 宮崎県 西日本新聞社/日本経済新聞社西部支社/㈱日刊工業新聞社/㈱日刊建設工業新聞社/㈱日刊建設通信新聞社/㈱九建日報社

● 後

国内で多発する自然災害からの復興、より安全な暮らしを求めて英知が注がれる国土の開発・・・。 いろいろなところで、さまざまな人の明日をひらく「建設技術」という大きな力。 それは、これからも未来を創造するたくましい推進力として期待されます。



9:00~

【受付開始】2Fロビー

9:30~

【開 会 式】実行委員長挨拶 3Fメインホール

開会式終了後 (30分)

【基調報告】3Fメインホール

平成24年7月九州北部豪雨における 地盤災害調査報告 |



九州大学大学院工学研究院 教授

安福 規之氏

(主な社会活動等) 1983年 11円大学大学院

工学研究科修士課程土木工学専攻終了 1994年 九州大学工学部助教授 2007年 九州大学大学院工学研究院准教授 2009年 九州大学大学院工学研究院教授

 (公社)地盤工学会平成24年7月 九州北部豪雨地盤災害調査団 団長 九州地方整備局緊急災害対策派遣ドクター 組地盤工学会平成21年7月

山口·九州北部豪雨土砂災害調査団 団長等

10:10~

【 基 調 講 演 】 3Fメインホール

(略歴)

「東北地方太平洋沖地震災害の その後の復旧について



国土交通省東北地方整備局 副局長 岩崎 泰彦氏

1982年 3月 北海道大学大学院工学研究科修了 1982年 4月 建設省採用 道路局企画課建設専門官 1995年7日

2000年5月 中国地方建設局岡山国道工事事務所長 2005年4月 道路局地方道·環境課道路交通安全対策室長

2008年 4月 福岡県県土整備部長 2010年8月 北海道局地政課長

2011年7月 現職

(略歴)

11:10~

【新技術相談】 2F多目的ホール

国土交通省での新技術の活用や登録など種々のご相談に応じていますので、 お気軽にご活用ください。以下の4部署が、相談に応じます。

- ◇国土交通省九州地方整備局
- 企画部施工企画課
- 港湾空港部海洋環境·技術課
- 九州技術事務所
- 下関港湾空港技術調査事務所

ACCESS





技術情報の提供

11:10~17:00

応募された技術について、 下記分類ごとにブースにて展示を行います。

品 質

ICT コスト

11:10~17:00 プレゼンテーション

応募された技術について、下記分類ごとに発表を行います。 (発表15分、質疑応答5分)

安 全

品 質

観

コスト

LCT

発注者の



情報提供 地盤工学会

11:10~17:00 ポスターセッション

主催団体や大学等の若手研究者の発表の場です。



9:00~17:00 「技術概要集」の配布

応募された技術のすべてを下記分類ごとに取りまとめた 概要集を来場者に配布いたします。

全

品 啠

ICT



コスト

11:10~17:00 「カタログ」の配布

参加者の技術紹介等のカタログを配布いたします。



